

平成 29 年度 研究計画書

Research Plan FY2017

| | |
|----------------------------------|------------------------|
| 講座名・職名 Course Title・Job Title | ヨーロッパ I 講座・教授 |
| 氏名 Name | 中川 裕之 |
| 専門分野 Academic Field | ドイツ語学/言語学, 外国語教育, 地域研究 |

平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2017 (Post on Website)

| | | | | | |
|---|--|---------------|-----------------|------------------|---------------|
| 主たる研究テーマ Principal Research Subject | 多言語多文化国家スイスのグラウビュンデンにおけるレト・ロマン語とドイツ語をめぐる言語文化社会研究 | | | | |
| 研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words) | | | | | |
| <p>平成 25～28 年度にかけて採択され実績を重ねつつある研究推進経費による研究成果刊行助成に本年度も応募し統括・推進する計画である。本プロジェクトは、本研究科言語社会専攻ドイツ語部会のドイツ語学／言語学系の教員による研究を基軸とし、関連する連携可能な研究者とつながりながら進めているユニークな試みの一つである。昨年度は北ドイツ出身の外国人教員と隣接部局の社会言語学研究者との共同研究を実施し研究内容の一層の実質的充実を図った。さらに平成 27～29 年度を補助事業期間とする科学研究費基盤研究 (C)「スイスにおけるレト・ロマン語の社会言語学的・異文化コミュニケーション的研究」の研究代表者として目下従事している。最終年度である本年度は大言語 (とりわけドイツ語) に対する小言語 (とりわけレト・ロマン語) の理論と、言語研究に基づいて構築された異文化間コミュニケーション的ディスコースの理論について、実証的観点から文献学的研究と社会実地調査を行うとともに、国内外の関連研究者たちと議論を重ねることを通じて、多言語多文化論の整備・構築に取り組み、研究報告書として成果をまとめる。</p> | | | | | |
| 共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1 | 言語学 (ドイツ語) | 言語学 (コーパス) | 外国語教育 (ドイツ語) | ヨーロッパ文学 (スイス) | 地域研究 (スイス) |
| キーワード Keywords*2 | ドイツ | コーパス | 多言語主義 | レト・ロマン語 | スイス |